

**製品名: Pax-1 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab15783**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	36kDa

**抗原情報**

遺伝子名	PAX1
別名	PAX1; HUP48; Paired box protein Pax-1; HuP48
遺伝子 ID	5075.0
SwissProt ID	P15863
免疫原	抗血清はヒト Pax-1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 318-367

**背景**

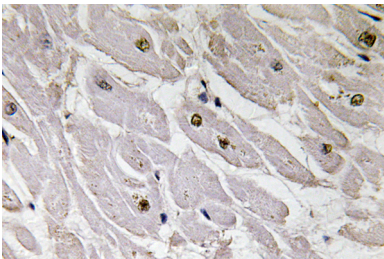
この遺伝子は、転写因子のペアボックス (PAX) ファミリーのメンバーです。PAX ファミリーのメンバーは、通常、ペアボックスドメインとペア型ホメオドメインを含みます。これらの遺伝子は胎児発育において重要な役割を果たします。この遺伝子は胚発生にお

けるパターン形成に関与し、脊柱の発達に必須である可能性があります。この遺伝子は、卵巣がんおよび子宮頸がんにおいてメチル化によってサイレンシングされており、腫瘍抑制遺伝子である可能性があります。この遺伝子の変異は、脊椎奇形にも関連しています。[RefSeq 提供、2012 年 3 月]、機能: このタンパク質は転写活性化因子です。胚の分節構造の形成に関与している可能性があります。脊柱の正常な発達において重要な役割を果たす可能性があります。類似性: 1つのペアドメインを含みます。、

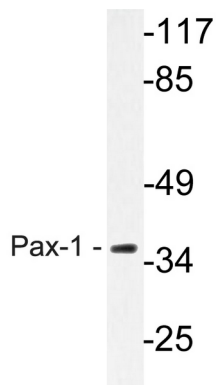
## 研究分野

ドメインファミリー; 発達ファミリー; PAX; エピジェネティクスと核シグナル伝達; 転写; 転写因子

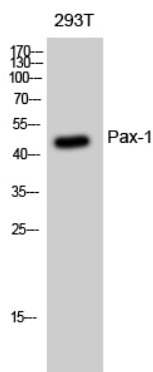
## 画像データ



パラフィン包埋ヒト心臓組織における Pax-1 抗体の免疫組織化学分析。



Pax-1 抗体を使用した HeLa 細胞の溶解物のウェスタン ブロット分析。



1: 500 に希釈した Pax-1 ポリクローナル抗体を使用した 293T 細胞のウェスタン ブロット解析。